

開成町 地域支えあい活動

～ おたがいさまで支えあう“やさしいまちづくり”～

みなさん、こんにちは。4月、新年度になりましたね。

しかし依然として、新型コロナウィルスの影響で地域の活動や様々な集いの場が開催中止や延期となっているのが現状です。

早く新型コロナウィルスの感染拡大が収束し、日常を取り戻せるように、自治会館をはじめとした集いの場に賑わいが戻ることを祈るばかりです。

新型コロナウィルスの感染が拡大する前の令和2年2月18日（火）、
「開成町支えあい活動担い手養成講座 おたがいさまで支えあう
“やさしいまちづくり”～なじみの人、なじみの場所の大切さ～」
を町民センターで開催し、70名を超える多くの方にご参加いただきましたので、今回はその様子をご報告させていただきます。

今回の講座では3部に分かれ、第1部では開成町保健健康課の曾我保健師より「おたがいさまで支えあう“やさしいまちづくり”とは」についてお話しいただき、第2部ではほかの地域の活動報告として、横浜市旭区二俣川ニュータウン地区での屋外サロン「和」の活動についての報告や、平塚市横内地区町内福祉村「スマイル広場」の活動報告をしていただきました。

開成町地域支えあい活動の生活支援コーディネーター水野です。



生活支援コーディネーターは高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らしていくように、地域の特性や高齢者の生活課題（困りごと）を把握し、サービスの開発や担い手開発・育成・ネットワークづくり、ニーズと取り組みのマッチングなどを行います。



また第3部では参加者を10グループに分け、参加者の方が日頃行っている「見守り活動や定期的に行っている活動」について、お話しいただき他地区の活動の情報共有や意見交換を行いました。

今回参加してくださった方々は、自治会役員、自治会福祉部、民生委員、老人クラブ会員、体操指導員、婦人部、ボランティア活動団体、あいさつ運動の会、町議会議員など、本当に様々な方が参加してくださいました。開成町は小さな町ですが各地区それぞれに特徴のある支えあい活動、自治会活動、見守りが行われていることがわかりました。



今回の第3部に行った開成町における「見守り活動や定期的に行っている活動の意見交換」に関して、参加者の方からいただいた内容は社協HPにて掲載しております。ぜひご覧いただき、ほかの地域の活動の様子を知り、今後のささえあい活動のご参考にしていただければ幸いです。

さらに今年度から地域支えあい活動として、定期的に地域別やグループに分けての情報交換・意見交換の場所として「（仮称）地域支えあい活動 井戸端会議」を行っていきます。詳細は次ページをご確認ください。